

[成果情報名]半促成長期どりアスパラガス有望品種「Grande」(スーパーウェルカム)の収量性

[要約] 半促成長期どり栽培において、「Grande」は「UC157」(ウェルカム)と比較して春芽、夏芽収量、年間収量において優れ、L以上割合、平均1本重において同等である。

[キーワード] アスパラガス、半促成長期どり栽培、有望品種、「Grande」、「NJ953」、「UC157」

[担当]長崎県農林技術開発センター・農産園芸研究部門・野菜研究室

[連絡先](代表) 0957-26-3330

[区分]野菜

[分類]指導

[作成年度]2012年度

---

#### [背景・ねらい]

長崎県におけるアスパラガスの半促成長期どり栽培において、「UC157」がほぼ100%占めている。栽培年数の多い産地は、株の老齢化が進み収量が減少傾向にあり、産地からは、安定多収栽培技術の確立や改植技術の確立、多収品種の導入等の要望がある。これまでに、「NJ953」を有望品種ととらえ研究してきたが、総収量は高いが、S比率が高いため、更に品種の探索を行うこととなった。そこで、今回、「Grande」の収量性について検討を行う。

#### [成果の内容・特徴]

1. 「Grande」は、春芽、夏芽、年間合計ともに可販収量が「UC157」より多い(表1、図1)。
2. 「Grande」は、平均1本重が「UC157」と同等である(表1、図1)。
3. 「Grande」は、L以上割合が「UC157」と同等である(表1、図2)。
4. 総収量に占める可販率は「Grande」、「NJ953」共に、「UC157」と同等である(表1、図2)。

#### [成果の活用面・留意点]

1. 今後、「Grande」の夏芽の緑色度や収量性向上技術について研究を継続する。
2. 新・改植における品種選定の参考とする。

[具体的データ]

表1 収量調査

	可販収量			平均 1本重 g/本	重量%									
	春芽		合計		可販	2L	L	M	S	A品	外品			
	kg/a	(%)										kg/a	(%)	kg/a
Grande	104.0	(127)	162.1	(107)	266.1	(114)	19.7	93.0	15.1	45.6	18.2	9.2	4.9	7.0
NJ953	81.8	(100)	205.1	(135)	286.9	(123)	12.3	93.1	0.7	23.3	28.0	37.1	4.0	6.9
UC157	81.8	(100)	151.4	(100)	233.2	(100)	19.2	91.8	14.4	44.9	17.3	9.0	6.2	8.2

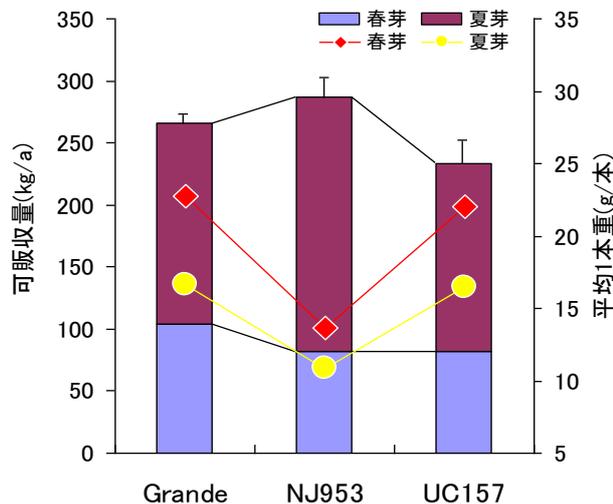


図1 年間収量比較(春・夏芽別)  
量%)

エラーバーは標準誤差(n=3)

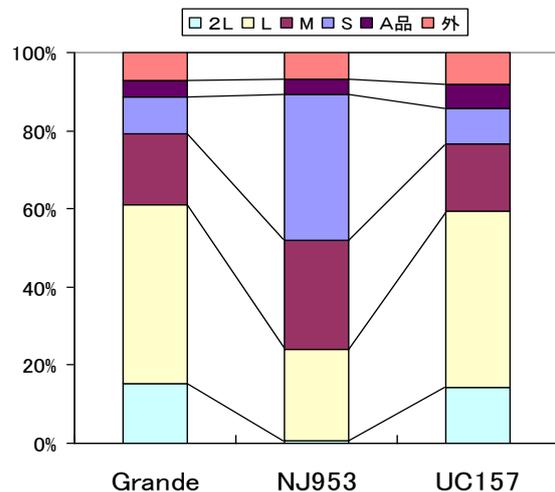


図2 階級別割合(重  
量%)

耕種概要

1. 供試品種：「Grande」、「NJ953」、「UC157」
2. 植様式：間口6mのビニールハウス、畝幅200cm、3畝、株間25cm、1条植
3. 定植：2009年2月2日定植、(4年生株)
4. 施肥量：年間N:41.4, P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>:20.9, K<sub>2</sub>O:23.5
5. 全刈り：2012年1月29日
5. 保温開始：2012年2月23日
6. 立茎開始：2012年4月12日(「NJ953」)、2012年4月24日(「Grande」、「UC157」)
7. 収穫期間：春芽：2012年3月1日～4月30日, 夏芽：2012年5月1日～10月31日

[その他]

研究課題名：アスパラガス有望品種の栽培技術確立  
 予算区分：県単  
 研究期間：2009～2014年度  
 研究担当者：陣野信博